

東光寺報

●編集・発行
曹洞宗 東光寺
☎359-0012
所沢市坂之下383番地
TEL /04-2944-3531
FAX /04-2945-2408

「今思うこと」

東光寺住職

洪谷俊成



檀信徒の皆様この未曾有の災禍とはいえ、この難局に立ち向かわれていることと存じます。

さて、昨年度計画しておりました金毘羅堂の修繕工事が昨年十一月に終わりました。会長様、役員様をはじめ檀徒会皆様のお力でこの工事を終える事が出来ました。事、心から感謝申し上げます。工事完成を記念した石碑を金毘羅堂へ向かう階段の下に今年三月に設置致しました。命日、お盆等お墓にお参りに来山された際に是非ご覧いただければと思います。

今年も半年が過ぎましたが、新型コロナウイルスの感染の恐怖、これからの生活への不安は簡単に拭いきれる事ではありません。今年度の曹洞宗管長 福山諦法師の告諭(おことば)の中にこのような文があります。

『ともに学びましょう。己の益を先とする私たちの行いは多くの諍(いさか)いを生んできました。本来の自己のありようは、他者との共生にあることを参究しましょう。その営みの中にこそ平和の実現があるのです。』

ともに願いまししょう。私たちは、人やもの、自然環境に至るまで、数多のめぐみを受けて生きています。それらすべてと協調し、感謝の年を忘れず、世代を超えて安心して過ごせる世界の構築を願う菩薩の誓願に生かしましょう。ともに実践しましょう。お釈迦

さまは、智慧と慈悲を説かれました。あらゆる人に親切に接する慈悲の実践は、自ずと、心穏やかに暮らす智慧の心を育みます。それはお互いがそれぞれを生かし合い、尊重し合う社会へとつながります。『私たちは生きていくうえで様々なめぐみを頂いております。ご先祖様、父母より頂いた心身をはじめ

東光寺の近況



檀徒会会長

内藤厚嘉

合掌

め、この災禍においても様々な方がご尽力を頂いております。頂いためぐみの感謝の念を忘れず、多くを求める生き方を見つめ直し、自己をつつしみ、ともに思いやり、分かち合う社会を目指し努めて参りましょう。

りました。大変残念ですが、健康安全を第一に考えなければならな

会計を担当して頂いた、塩野一行様が体調をくずされて、木下章様に変更致しました。塩野一行様には早く快方に向かう様お祈りいたします。

監査を担当して頂いた、小野英一様が体調をくずされて、高橋貞夫様に変更致しました。小野英一様にはご自愛頂きますようお願いいたします。

東光寺としても、この経験を生かして様々な事を模索していると思えます。皆様方には変わらぬご支援とご協力をお願い致します。

今年も猛暑が予想されています。どうぞご自愛頂きますようお願い申し上げます。

梅雨の候、皆様方がお過ごしですか、緊急事態宣言は解除されたとは言え不安な日々を送りさぞかしお疲れの事と推察致します。この様な体験をしてみると「普段当たり前の生活が出来る事がいかに幸福である」つくづく考えさせられます。どうか皆様方にもご自愛をお願い致します。

三月一〇日に予定していた、金毘羅様お堂落慶祝賀会をはじめ、全ての事業、行事が中止延期とな